

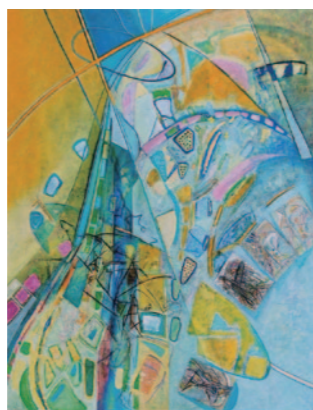
第75回記念 新制作展

■東京展 新国立美術館 2011.9.14(水)～26(月)
■京都展 京都市美術館 2011.10.18(火)～23(日) 他

TOPIC 入選



『肺があった記憶』中井祥子(洋画4年)



『太陽の世界』中島彰良(洋画4年)



『白い壁』窪田沙織(洋画3年)



『SENSIBILIA I』藤岡正浩(卒業生)



『Operator II』今崎順生(卒業生)



『空に浮かぶ住居』田中和之(卒業生)

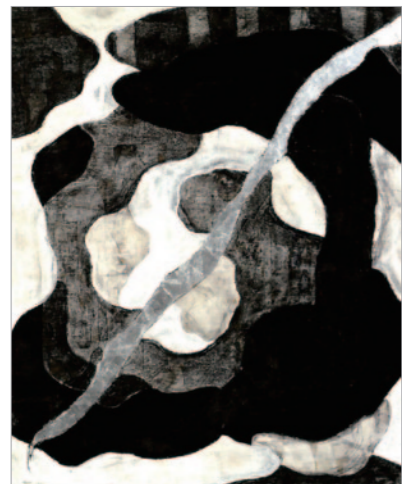
●会員出品・洋画部
『炳霊寺石窟大仏』中村貞夫(洋画講師)
『Real Dub World 11 (慶世羅々々)』西田周司(洋画教授)

●会員出品・彫刻部
『黒い太陽と月そして地球-V』市川悦也(立体造形講師)

TOPIC 第66回 行動展

■東京展 国立新美術館 2011.9.14(水)～26(月)
■大阪展 大阪市立美術館 2011.10.12(水)～16(日)
■京都展 京都市美術館 2011.11.8(火)～13(日)

●会友出品



『ながれゆくもの』新谷友佳子(大学院修了)/会友

●会員出品
『海の空—春遠からじーI』高井道夫(洋画講師)

TOPIC 第46回 関西国展

京都市美術館 2011.8.10(水)～21(日)

●関西国画賞



『もう一度、出会う為に出来る事...』榎下町祥吾(大学院修了)

●入選



『Tree』吉田和真(彫刻3年)

●新人賞



『カウンター』入江慎吾(彫刻4年)

●会員出品
『老不動』西村公泉(彫刻教授)
『東入ル』合田のぞむ(助教)

●準会員出品
『もてあます』高田治(大学院修了)
『Futi』西村大喜(卒業生)

ART NEWS no.34 2011 Autumn

あーと通信

宝塚大学 造形芸術学部 アート・デザイン学科 美術領域

TOPICS

- 教員の制作活動紹介 木村智博 講師/上岡秀拓 助教
- 卒業生のお仕事・教職編 上岡弥生さん(洋画)/丸山智史さん(彫刻)
- 公募展 入選情報 第75回記念新制作展/第66回行動展/第46回関西国展

TOPIC 木村智博 講師 (専門分野: CGアート/イラストレーション) Website > <http://kimura.gogo.tc>

『EAST-WEST ART AWARD 2011』



本展覧会は、Far East (日本・中国・韓国等)、South East Asia (シンガポール・タイ・マレーシア等)、英国、ヨーロッパ各国のアーティストが参加するコンペティションです。先生の作品『Stillness』(写真右)がファイナリストに選出されました。ファイナリスト選出作品は、10月にロンドンの中心Pall Mallの画廊La Galleriaで開催された『EWA Finalists' Exhibition』に展示されました。

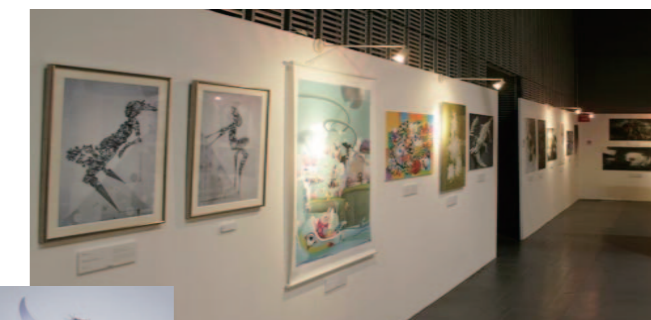
●関連ウェブサイト
>><http://www.ewaaward.com>



『Stillness』>>

『ASIAGRAPH 2011 in Tokyo』に招待出品

ASIAGRAPH CGアートギャラリーで招待作家として参加されました。アジアグラフは、デジタルコンテンツエキスポ内で毎年開催されるCGイベントです。今年は、日本・中国・韓国・台湾・シンガポール・タイ・マレーシア・フィリピン・インドネシア・ベトナムから約30名の招待作家を迎え、2011年10月20日～22日に日本科学未来館1Fで展示されました。



●関連ウェブサイト>><http://www.asiagraph.jp>



『Motion』

★木村先生のHP『Kim's Lab』ではCG、イラスト、デザインなどの作品を閲覧できます。ぜひご覧ください！

TOPIC 上岡秀拓 助教 (専門分野: 絵画/イラストレーション) Website > <http://hide-u.jimdo.com>

『北米カナダのアートギャラリーに招待出品』

>> Rufus Lin Gallery Japanese of Art

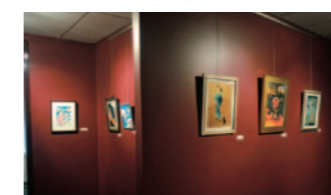
この夏、カナダ・バンクーバーにある美術ギャラリー Rufus Lin Gallery主催の美術展「日本の夏展」、カナダリッチモンド市の「Richmond Auto Mall 2011」でのアートイベントに招待され、絵画作品を展示しました。



『涼』



「Richmond Auto Mall 2011」2011.6.8



「日本の夏展」2011.8.1～9.30

『NHK-BS「BS歴史館」アニメーションの演出パートを制作』



担当回の放送日: 2011年11月17日

日本史や世界史上の様々な著名人物に焦点を当てたNHK-BSドキュメンタリー番組「BS歴史館」で、本学助教・上岡先生がアニメーションの演出を担当、映像を制作しました。担当した回では、マリーアントワネットとその母テレジアとの親子関係がテーマでした。

●番組ウェブサイト>>www.nhk.or.jp/bs/t_history



●@bijutu 美術領域twitter/美術領域内の展覧会情報、イベント等をリアルタイムでご紹介。
●@zukagei 宝塚大学造形芸術学部twitter/学内イベントや学生の活動などの最新情報をツイート！

あーと通信 no.34 【平成23年10月31日発行】 編集: 圓山茂子・上岡秀拓・山縣武・池尻篤志

■E-mail: s-maruyama@takara-univ.ac.jp ■美術News: <http://bijyutsu.takara-univ.ac.jp>
■学生作品データベース: <http://bijyutsu.takara-univ.ac.jp/image-db>



宝塚大学
■ホームページ: <http://www.takara-univ.ac.jp>
■TEL: 072-756-1231/FAX: 072-758-7869

美術領域で学び、美術教員になろう！

●アート・デザイン学科で取得できる教員免許

中学校教諭一種(美術)／高等学校教諭一種(美術)

造形芸術学部 アート・デザイン学科では、教職課程に関する科目を履修し単位が認められることで、教員免許を取得することができます。美術領域では、「洋画」「日本画」「立体造形」「美術史・美術理論」「模写」「CG」「版画」など、幅広い美術分野を学んだ卒業生が現在も多くの中学校や高校で美術教員として活躍しています。各都道府県の教員採用試験に合格したり、小学校の教員免許を取得する卒業生もいます。

現在教師をされている卒業生2名にインタビューしました。

TOPIC

明石市小学校講師(図工)・上岡弥生さん 2005年大学院修了(洋画)



子供たちが身体を使って創造できる授業作りに、日々取り組んでいます。

学生時代は洋画を専攻し、100号前後の抽象絵画を中心に描いていました。大胆に体を使って想いを表現することのできる大作作りに夢中で取り組みました。今もにじみやドリッピング、スクラッチ、スタンピング、コラーージュ等の技法や、大胆な配色の絵画が好きです。

その感覚は小学校の授業でも大いに生かされていて、子供が喜ぶ技法や配色について日々考えています。学級全体の共同制作で大作を作ったり、クロッキー会や写生会をしたり、机に向かうだけではない“体を使った造形活動”ができるように考えて授業を作っています。

高校美術と小学校図工の違い

昨年末までは高等学校の美術講師をしていました。高校では、芸術の授業は「美術」「音楽」「書道」から生徒が自由に選択します。美術の授業では、レベルの高い作品制作をすることができる生徒が多く、指導も専門性の高いものが要求されます。授業外でも学級や部活動の運営を通し、生徒との厚い人間関係を築くことができるのが醍醐味ですね。

一方、小学校は初めて出会う道具や技法を正しく安全に、また楽しく使っていただくことができるように仕組むことが大切です。うまく描くことよりも、様々な活動を通して物作りの楽しさを体感させ、発想を広げて独創性のある作品作りができるよう導きます。授業内では子供同士の思わぬトラブルや問題行動が起こるので、道徳的な指導をしなければならない場面もよくあります。子供は大人に対して理想や夢を持っているので、言動には一層の注意が必要です。

小学校で指導している図工の授業例

小学校教員という仕事の一つは「知る喜び」を与えてあげること。やったことの無い技法、使ったことの無い道具、知らなかった名画の鑑賞方法など、未知のことはどんどん教えてあげたいし、それを楽しんでほしいといつも思っています。

■「住んでみたい町」(5年生)

【授業の狙い】
・実際の風景をよく見てスケッチしようとする。
・パステルや割り箸ペンを使いこなせるようになる。



パステルの粉で着彩された、鮮やかな風景画。

液状紙粘土を塗った色画用紙を割り箸ペンでスクラッチし、学校から見える町をスケッチしました。乾燥後に、カッターで削ったパステルの粉で着彩して完成！パステルのぼんやりとした色の広がり、あちこちから歓声があがりました。いつもの町が違う風に見えたかな？

■「ピカソになろう！オリジナルゲルニカ」(3年生)

【授業の狙い】
・色や形を工夫し、テーマにあった造形を考案することができる。
・協力して大きな作品を作る事ができる。

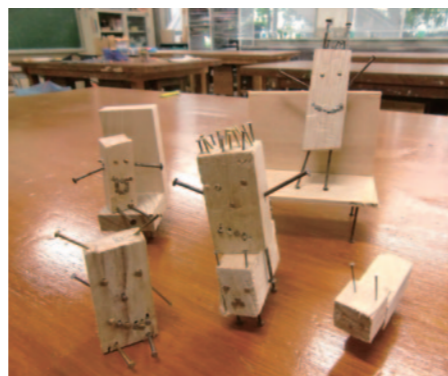


子供たちのゲルニカ。とても楽しそうな作品です。

「ゲルニカ」「泣く女」などのピカソの人物画を鑑賞し、「喜怒哀楽」をテーマにしたオリジナルのゲルニカをクラスで共同制作。一人ひとりの人物や造形は、班でこだわって作りました。体部分は子供自身が型になってみんなで体をなぞり描き。人間の手足は想像以上に長く大きく動くことに気付いたようです。この後、3年生の間では「ピカソ」という言葉がブチ流行しました(笑)。

■「出現！くぎにんげん」(3年生)

【授業の狙い】
・道具を正しく安全に使うことができる。
・材料から想像を膨らますことができる。



素朴な素材ほど純粋な味わいがあります。

木片を体にして、手や顔のパーツは錆びた釘や真新しい釘から自由に選ばせて作品に表情を付けていきます。様々なパターンの参考作品を用意したり、目の前で私が作って見せることで「やってみたい！」という気持ちを刺激します。限られた材料の中でもアイデアをひねって道具を工夫して使うことで、色んな髪型、色んなポーズの様々な「くぎにんげん」が机の上に大量に発生。簡単に作れるし、とっても楽しくて盛り上がりました。

子供たちの反応が楽しい。



授業で行う内容の説明をしたときに「やってみよう！」「面白そう！」という声飛んだときや、作業中に「楽しい！」という声あがる時は、心の中で「よっしょ！」とガッツポーズします。

また、放課後に児童作品を並べて眺めていると、抱きしめたいほどかわいらしいものばかりで思わずにんまりしてしまいます。来週はこの作品をどうやって指導していこうかと策を練ったり、掲示板を児童作品で飾ったりする事も、とても楽しい時間です。



図工の中で知的欲求をどんどん刺激することで、他の様々な場面でも良い影響が表れると信じています。また想像上のものを作り出すことで、無限に広がる子供の夢の世界を現実と近づけることができます。子供の欲求や夢を壊すことなくそれを作るお手伝いができれば、と思っています。

自分の研究してきたことで仕事できて、喜ばれて、今もそのことについて毎日勉強できて、教職って本当にとっても楽しい仕事です。大学時代の専攻分野はもちろん、少しでもかじったことが今とっても役に立っています。

TOPIC

西宮市中学校教諭(美術)・丸山智史さん 2005年大学院修了(彫刻)



一度はバイクディーラーに就職、そして現在は美術教師に。

大学院を修了後、バイクを専門に扱うディーラーに就職しました。以前からバイクに興味があり、社会人として働いてみたかったので迷わず就職しました。そこでは2年間働き、最後の1年はお店を任せてもらえるまでになりました。しかし、制作活動ができない為、美術教師を目指すことにしました。

生徒が授業を聞いてくれるのか、教育という世界で仕事ができるのかわからなかった。不安など全くなかった。当初の不安など全くなかった。どの先生も一生懸命に生徒と向き合い、熱心に指導する姿に感動しました。最初の1年間はとても大変でしたが、多くのことを学べました。そして、その年に兵庫県教員採用試験に合格し、現在は西宮市の中学校に教諭として勤めています。

教員免許を取得後、講師の依頼がすぐにあり、宝塚市の中学校に勤務することになりました。ディーラーで働いていた時とは違い、今度は生徒に教える立場です。

教師4年目、制作活動との両立。

先日は大学に教職課程の講義「先輩教員に学ぶ」で講師として参加させていただきました。久しぶりの母校に講師として招かれたことに感謝しております。大学院(修士課程)を修了し、企業に就職、そして教員へ。教師生活も今年で4年目を迎え、ようやく制作活動と両立できるようになってきました。大きな作品はできませんが、時間を作って小さな作品をコツコツ制作しています。



『現実逃避』

『喝』

制作活動を通じた生徒との交流。そこに「美術教師」の醍醐味がある。

私は、美術の授業では生徒と同じく制作をします。生徒の見本となるのもそうですが、「作品が出来上がっていく過程を見せたい」というのが本音です。制作をしていると休み時間や授業のたびに、「先生！どこまで進んだ？」「私にも見せて！」と声をかけてくれます。これがすごくうれしいです。授業に参加できない生徒にも私の制作を手伝ってもらうなど、制作を通して多くの生徒とのコミュニケーションを楽しんでいます。

仕事での悩みは山のようにあります。しかし、生徒との関係や制作活動を通して自分を表現したい気持ちに衰えはありません。「人づくり」と「物づくり」ができる教職は最高の仕事だと、改めて実感しています！

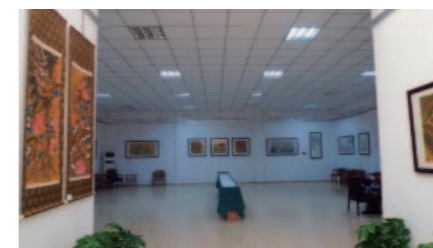
TOPIC

ミー・トンイン 宓冬瑩さん(大学院修了・芸術学博士)が中国で個展を開催。

卒業生のミー・トンインさんが、中国山西省汾陽市で10月8日～30日まで個展を開催し、30点の水墨画などの作品を展示しました。また、当地の美術講師を対象に「水墨画の現在と未来について」の講演会も開催されました。



【主催】 山西省汾陽市政府宣传部 市文化新聞局、冬冬芸術文化交流協会
【共催】 中国平和友好発展基金会 北京現代管理大学



会場内風景



出展作品